

平成29年度

事業計画書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

当事業団は、草津市協働のまちづくり条例に規定される中間支援組織として、市民と市の間に立って協働のまちづくりを推進しています。こうした中、近い将来草津市においても日本が抱える人口減少や少子高齢化による社会経済の減速を避けて通ることはできず、このことは草津市のまちづくり、すなわち「ずっと住み続けたい草津のまち」の実現にも大きな影響を与えることは必至です。そこで、平成29年度の事業団は、これまでの「知名度」を活かしまちづくりを支える「オンリーワン」の組織として、地域や各種団体といった多様な主体と連携・協力し、それぞれの属性に応じたまちづくりを進めることでその「品質」を高め、協働型社会の実現に貢献するとともに、そこから得られる共感や信頼をステップとし、「事業団ブランド」を確立することを目指して、次に掲げる事項を基本に事業計画を定めることとします。

（１）「みんなでつくる協働のまち草津」の実現に向けた中間支援の充実

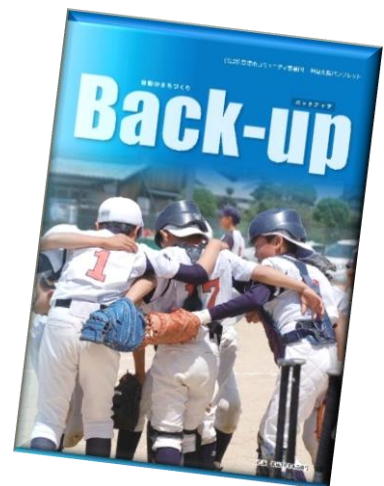
「第5次草津市総合計画」に掲げられた第3期基本計画リーディング・プロジェクトの1つである「コミュニティ活動の推進」に基づき、今年度、現市民センター（公民館）が地域まちづくりセンターとして機能転換されることに併せて、その管理運営を行う各地域まちづくり協議会に対し、各種資源を活用した中間支援を行います。また、市民公益活動団体等に対しては、活動支援の原点に立ち返った事業展開を図ることで中間支援組織としての質を高め、その役割を積極的に担います。さらに、同じ中間支援組織である草津市社会福祉協議会とは「健幸都市」づくりの推進について、連携・協力し事業に取り組みます。

（２）政策支援型の指定管理施設としての事業の推進

現在、指定管理施設として管理を行っている、まちづくりセンター・なごみの郷・長寿の郷ロクハ荘・ロクハ公園の計4施設については、今年度が指定管理期間の最終年度となることから提案課題を総括するとともに、施設受託の考え方を整理した上で次期指定管理者の募集に臨みます。また、新年度から継続して受託する草津クリアホールおよび草津アミカホールについては、草津市の政策を中間支援の立場で支援する提案を行ったことから「政策支援型」の指定管理施設として、草津市の文化芸術に関する施策に沿った市民参加と協働のまちづくりの拠点にふさわしい各種事業を推進します。

（３）「オンリーワン」であり続けるための組織力の確立と健全な組織経営

多様化する社会環境の中、市民生活を中間支援組織として支える事業団の使命を達成するには、今まで以上に人材を育成し組織力を高める必要があります。それには、組織の目標達成に向けて組織が期待する人物像や期待する役割を明確に示し、各職員はその達成に向け最大限の力を発揮し、それに応える必要があります。このことから、引き続き、評価制度を用いた人材マネジメントを行うとともに、事業の選択と集中により効率的かつ合理的な組織経営に努めます。



事業計画

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

ア. 市民公益活動団体等の交流促進

①「パワフル交流・市民の日」の実施（840 千円）

市民公益活動団体間の交流と、広く市民の市民公益活動への理解と裾野を広げるための交流事業として、「パワフル交流・市民の日」を実施します。引き続き、実行委員、参加団体などの事業に参画するステークホルダーを拡大するとともに、開催当初の目的である団体間の交流促進を意識した運営を目指します。

イ. まちづくりに関する情報の収集および発信

①まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行（3,974 千円）

市民編集ボランティアと協力し、「市民がつくるまちづくり情報誌」として市広報とは異なる切り口で草津のコミュニティの現状や課題、特色あるまちづくり活動の紹介をします。丁寧な取材を通し、多様な市民がまちづくりに関心を持ってもらえるような誌面づくりを行います。



②市民活動団体情報つながりのめ（212 千円）

市内で活動する市民公益活動団体（NPO 法人含む）の基礎情報を収集し、中間支援組織としてのネットワーク、ストック情報を拡大するとともに、冊子および HP にて情報を発信します。市民が関心ある活動に参加するきっかけや団体間のつながりづくりをサポートします。

③まちづくり協議会 HP 運営サポート（847 千円）

これまで通りホームページの運営サポートを継続する他、希望のあったまちづくり協議会に対しては現行のホームページに加え、地域まちづくりセンターの指定管理に対応するホームページを新たに作成する支援を行います。

ウ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング

①相談窓口・協働コーディネーターの設置（1,832 千円）

各種まちづくり相談を職員が行います。また、職員で対応が難しい相談業務に加え、「まちづくりへの ICT 活用普及啓発事業」「まちづくりフォーラム」「まちづくり協議会向けハンドブック作成（追加分）」「協働提案事業報告会」の業務を協働コーディネーター業務として高い専門性を有する NPO に委託の上、行います。

エ. まちづくりに関する人材育成および研修

①人と街の未来をつくるカレッジ（598 千円）

まちづくり協議会を対象に税理士、社会保険労務士などの専門家派遣および組織運営の参考となる研修を地域のニーズに合わせ行います。併せて、地域人材の育成及び各種団体の学びの場として連続講座を開催し、そこでの学びを地域まちづくりに活かせるような内容で構成していきます。また、この事業は将来的には各まちづくり協議会の講座事業のモデルとして講座の体系化を目指します。

オ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

①ひとまちキラリ助成（1,844 千円）

市民公益活動団体の立ち上げを支援する助成事業として「ひとまちキラリ助成」を実施します。これまでどおり採択、不採択に関わりなく丁寧なフォローアップを行うとともに、企業の協賛金をもとに特色ある地域活動を表彰する(仮) まちづくりアワードをメニューに加え、地域まちづくりの応援と気づきやノウハウの普及を図ります。

②地域まちづくりセンター支援業務（13,383 千円）

地域まちづくりセンターの指定管理者制度導入に合わせ、指定管理者となるまちづくり協議会に対し、経理・税務・労務をはじめとする日常業務の支援や情報ネットワーク環境の整備運営支援を、事業団がこれまで指定管理者として培ったノウハウを活かし行います。

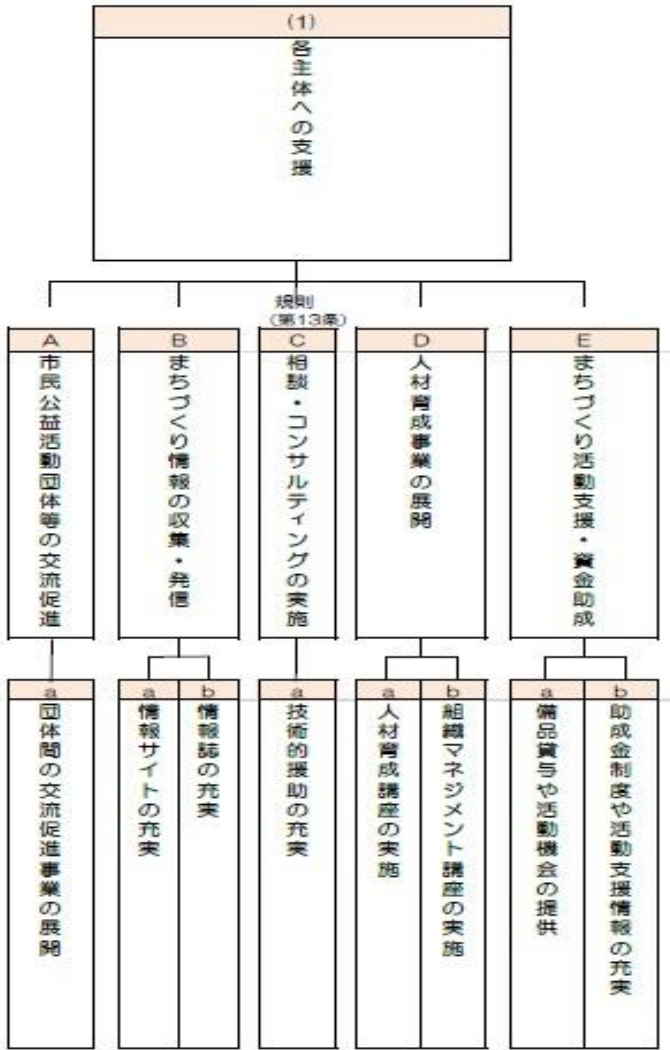
力。その他、各種団体との協働事業の推進（1,330 千円）＊共通経費含む

大学等での講義や、「まちづくり協議会向けハンドブック」「カレッジワークブック」を活用した地域での出前講座、ワークショップなどの依頼に柔軟に応じます。

併せて、協働のまちづくりにおける中間支援組織として趣旨に合致するものについては他団体と連携する他、「小規模多機能自治ネットワーク会議」「滋賀県市民活動支援センター意見交換会」など各種研修や勉強会にも積極的に参加し、中間支援組織の職員としての知見や情報の蓄積、ネットワークの拡大に努めます。



草津市協働のまちづくり推進計画における中間支援組織の役割



(2) まちづくりセンター

平成26年度から始まった指定管理期間の最終年度として、「登録団体とともに創る草津のまち～市民公益活動の活性化を目指して～」の運営理念のもと、多くの市民が利用する中間支援センターとして、より身近で親しみやすい管理運営を引き続き行います。

①市民公益活動の日の実施

公益性を高め、まちづくりを円滑に進めようとする登録団体を対象に、休館日（水曜日）にセンターの一部を「市民公益活動の日」として開放することで、市民が主体的、自発的に取り組んでいる活動を積極的に支援し、体験型指導などを通して市民の活動に対する関心を高めます。

②ふらっとサロンのさらなる有効活用

登録団体をはじめ市民や団体の活動をさらに活発にし、その活動を多くの市民に知っていただくため「ふらっとサロン」を活動紹介や作品展示の場として活用します。

また、草津市の「赤ちゃんの駅」に登録されたことを受けて、ふらっとサロンに設置した「ベビー&キッズスペース」では、登録団体や市内の子育てサークルとの協働で乳幼児連れの親子が楽しめる「子育て支援 ママ・コミュニティ」事業を展開し、これまでセンターとの関わりが薄かった子育て世代に安心して過ごせる空間を提供します。子育て中の保護者間の交流をはじめとした世代間交流など子どもたちの心を育む場所を作ることで、地域とのつながりを深め、まちとの関わり方を創出します。

③アウトリーチ事業の展開

市民公益活動の裾野を広げるとともに、より活動を必要とする人に届けるためのアウトリーチ事業をさらに推進します。登録団体が公共施設や病院、介護施設などに出向いて活動や作品を紹介するためのコーディネートを行い、地域の活性化につなげ、紹介施設のさらなる拡大に努めます。

④まちの情報局

草津市の動きや市内で行われた催しなど、さまざまな分野で活動する市民が紹介された新聞記事を「ガンバトル草津市民」としてロビーに掲示、市民に情報を提供するとともに、まちづくり支援情報として有効活用します。

また、ホームページでは、各学区まちづくり協議会の情報誌とリンクし、市民公益活動の状況把握に努め、地域まちづくりセンターや新聞社・ミニコミ誌にタイムリーな情報を提供する「まちの情報局」として情報発信機能を高めます。

⑤まちづくりセンター運営協議会事務局

中間支援組織の機能を高めるため、市民（利用者）、所有者（草津市）、指定管理者（事業団）の三者で構成する「まちづくりセンター運営協議会」の事務局業務を担い、市民の自主的、自発的な活動をサポートします。

また、年度ごとに実施している団体登録の更新、新規の申請業務を通じて、市民公益活動のさらなる活性化、充実を図ります。

⑥草津コミュニティ支援センターのサポート

公設民営として「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営を基本的に管理サポートする形で支援します。施設のさらなる安全管理の徹底を図り、開かれた施設としてのルール等については、まちづくりセンターの登録基準も参考に、草津市および同運営会と調整の上、合意形成に努めます。

⑦まちづくり機器の貸出（1,414 千円）

市民活動団体やまちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るため実施するイベント等に必要の「各種まちづくり機器」を貸し出します。広く周知するため、草津市が発行する「市民活動資料集」に事業概要を掲載し、幼稚園や保育園等にDMを送付し、利用者の拡大に努めます。また、利用者の要望や利用頻度等に応じた機器の更新等を進め、ニーズに合ったより効果的な利用促進を図ります。



2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業

(1) なごみの郷

平成 27 年度から始まった指定管理期間の最終年度として、いきがいと安らぎを感じ、健康で明るく楽しく年を重ねていただけるよう、なごみの郷での仲間どうしの交流や好奇心を満たす学びなどを通して、様々な出会いとふれあい、いきがいを感じて過ごしていただける「くさつ多世代幸齢者ステーション」として、引き続き、管理運営を行います。なお、温浴利用者数の減少が若干見込まれることから、新規利用者の獲得とリピーターの確保に努めます。

①多世代が楽しく集いふれあう空間の提供（1,012 千円）

親子の日お楽しみ会／ロビーコンサート／幼稚園・保育園連携事業／キッズルームを利用したキッズバースデーパーティー／地域協働合校など、地域連携や世代間交流を促す講座や事業を行います。

②学びで育む知縁コミュニティの創出（5 千円）

ロビーギャラリーで作品発表及び講座の開催／防犯対策講習会／ボランティアってなに（社協連携）など、高齢者に関心の高い知識や技能を高める講座や、安全・安心に生活していくための学習事業を実施し、学びを通しての仲間づくりや「知縁」の場を提供することによって、社会的孤立や引きこもりなどの課題解決に向けた取り組みを行います。

③いきがいのある豊かな生活の支援（373 千円）

陶芸教室／アロマワックス教室／ハンギングバスケット教室／料理教室（JA 女性部との連携）／やすらぎ学級・敬老会（地域連携）事業／なごみの郷運営協議会を活用し、従来、事業の受け手であった同好会や事業参加者の方々に運営側として関わっていただき、やりがいやいきがいににつながる事業展開を行います。

④健康で長生きすることを目指した事業の展開（184 千円）

無料健康相談（月 1 回）／歌と音楽でわくわくトレーニング／骨密度・血管年齢測定（草津総合病院との連携）／長寿いきがい課との連携による「介護予防教室」など、介護予防の実践と啓発につながる事業を行います。

⑤介護予防・日常生活支援総合事業を支援するための試み

これまでの活動で培ってきた公益事業の幅広い活動領域における連携や施設管理と事業実施の一体的な運営が可能である利点を活かし、介護予防・生活支援サービス事業の

拠点としてなごみの郷を位置づけ、市社会福祉協議会と連携し、介護予防・日常生活支援総合事業を支援する事業を行います。

- ・地域サロンの一環として「とく・得バスツアー」を実施（市社協との連携事業）
- ・事業団が管理する他施設と連携した体験学習の実施（道の駅草津）



（２）長寿の郷ロクハ荘

平成 27 年度から始まった指定管理期間の最終年度として、高齢者が心身ともに健康で長生きしていただけるよう、ロクハ荘を様々な出会いとふれあい、安らぎを感じて過ごしていただける「健康長寿くさつを目指す幸齢者ステーション」として、引き続き、管理運営を行います。なお、来館者数および温浴利用者数の減少が見込まれることから、新規利用者の獲得とリピーターの確保、さらには多世代に渡る利用者層の拡大に努めます。

①健康で長生きすることを目指した事業の展開（549 千円）

無料健康相談（月 1 回）／健康関連講座の開催／長寿いきがい課との連携による「介護予防教室」、草津市からロクハ荘運営に発展した「ロクハ荘いきいき百歳体操」、また、草津発のオリジナルプログラム「びわ湖くさつ はつらつ CLUB in ロクハ荘」の発展など、介護予防の実践と啓発につながる事業を行います。

②いきがいのある豊かな生活の支援（72 千円）

エンディングノートやお洒落な歳の重ね方講座などの教養・趣味講座を、同好会や事業参加者など、従来、事業の受け手であった方々に運営側（ロクハ荘運営協議会）としてかかわっていただき、やりがいやいきがいにつながる施設改善や事業展開を行います。

③三世代が楽しく集いふれあう空間の提供（300 千円）

子育て支援事業（ひなまつり・七夕・クリスマスコンサート等）／昭和の日昔遊びをしよう／ハロウィン仮装 week／ふれあいロクハコンサートやロクハ演芸会など、つどいの広場「くれよん」近隣の学校や町内会などと連携し、地域コミュニティや世代間交流を促す講座や事業を展開します。

④学びで育む知縁コミュニティの創出（6千円）

同好会活動支援／同好会によるイベント／高齢者に関心の高い知識や技能を高めるスマートフォン・タブレットなどの講座や、健康的に生活していくための栄養改善など学習事業を実施し、学びを通しての仲間づくりや「知縁」の場を提供し、今日用（教養）と今日行く（教育）事業を展開することによって、社会的孤立や引きこもりなどの課題解決に向けた取り組みを行います。

⑤介護予防・日常生活支援総合事業を支援するための試み

これまでの活動で培ってきた公益事業の幅広い活動領域における連携や施設管理と事業実施の一体的な運営が可能である利点を活かし、介護予防・生活支援サービス事業の拠点としてロクハ荘を位置づけ、市社会福祉協議会と連携し、介護予防・日常生活支援総合事業を支援する事業を行います。

- ・介護予防対策として健康セラバンド講座の実施（立命館大学との連携事業）
- ・退職世代の方を対象としたボランティア入門講座の実施（市社協との連携事業）
- ・地域サロンの一環として「とく・得バスツアー」を実施（市社協との連携事業）
- ・地域連携として近隣の学校などと連携した体験型事業の実施
（高穂中学や玉川高校、立命館大学など）
- ・事業団が管理する他施設と連携した体験学習の実施
（ロクハ公園と連携共同事業として、さくら茶会やアウトドア料理など）



3. 環境及び公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園

平成27年度から始まった指定管理期間の最終年度として、「人と街と未来にコミュニケーションする緑住文化都市～「ガーデンシティ草津」への挑戦～」の運営理念のもと、公園緑化活動や自然環境にふれることのできる公園として、引き続き、管理運営を行います。昨年度途中から、ホームページで開始した「公園へのいざない」を中心に、「ロクハ公園に行ってみよう」「ロクハ公園って楽しそう」という好奇心を刺激し、ロクハ公園の隠れた魅力や活用方法をより多くの市民の方々に知っていただくために、タイムリーな情報発信を行います。またカブトムシ観察会をはじめ、より親しみの持てる公園づくりを目指し、既存のジャブジャブ小川の流れや池等の活用、南ゲート付近の自然環境を活かした、メダカやザリガニ等の生息環境を再現するビオトープ環境事業や自然観察会などの学びの場を提供します。また、市民の方々がお持ちの知識や技能を活かしたボランティア活動（公園サポーター）として協力を得ながら、花壇づくりや美化活動・子どもたちの遊び場を見守るなど様々な活動を行います。



(2) 児童公園等（34,224千円 受託）

児童公園等が、地域の皆さんが安心して安全に利用できる憩いの場・学びの場になるように、地域の方と協力・連携しながら維持管理をしていきます。ガーデニング事業「公園へ行こう」などを通して、人と人・人と自然が交流できる場となり、地域の方が新たな出会いや発見を通して生きがいをもってチャレンジする活力、すなわち「まちづくり」につながるということを念頭に維持管理をしていきます。また、町内会やボランティアなどに対して、草刈機や樹木剪定に必要な機器・軽ダンプ車といった環境・緑化機器などを無料で貸し出し、地域が主体となって地域の公園を管理していくための支援を行い、除草作業後の刈草処分のサポートし、地域では対応できない剪定や薬剤散布等の業務についての代行を行います。また、剪定枝葉を粉碎・チップ化し再利用による雑草抑制のマルチング材や遊具などからの落下時の緩衝・クッション材として地域の公園に還元したり、腐葉土・堆肥化したものを町内会や緑化協力団体などに配布を行います。各種イベント開催時には無料配布を行い、環境と自然にやさしい公園づくりを目指します。

（３）粉碎機貸出事業（69千円 受託）

平成26年度から市ごみ減量推進課の委託を受け、市民向けに「家庭用粉碎機の無料貸出」を行っています。これは家庭などの庭木の剪定で発生した枝や葉をゴミとして処分せず、粉碎・チップ化し再利用することで雑草の発生を防いだり、堆肥になり、各家庭で資源の有効活用を推進するとともに、市内におけるゴミの減量化を目指します。

（４）環境・学習事業（4,446千円）

ロクハ公園という恵まれた自然環境のフィールドを最大限に活用した身近な動植物の生態観察、自然素材を使ったクラフト体験など、自然や環境に関連する学びの機会を環境・学習事業として提供します。

- 自然観察会（樹木、野鳥、昆虫）
- 自然素材を使ったクラフト体験
- ロクハ荘および関係団体との協働事業
- 市民イベントへの協力や公園ボランティアの支援
- 地域ガーデニング活動支援や助成事業など



4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

(1) 文化ホール

市民の皆様と共に創るホールとしてクレアホールは2期目、アミカホールは3期目を迎えます。今年度からは草津クレアホール、草津アミカホールが一括管理となり2館それぞれのホールの特性を活かした事業や互いに連携した事業を実施することで、事業ノウハウやサービス向上に関する事例などの情報を2館で共有し、事業やお客さまサービスのレベル向上と平準化を図ります。また、ホール内に開設している草津アートセンターを中心に草津市の市民文化の創造と市民文化の普及・振興の窓口として、子どもから大人まで多くの市民に喜んでいただける事業を展開します。

ア. 鑑賞型事業（4,104 千円）

①ウィークエンドラジオロビーコンサート（クレアホール）

市民が気楽にホールにつどい、芸術文化に触れる場となる入口事業として、えふえむ草津の人気番組の公開生放送を毎月1回行います。また、昨年度より定着した子育て支援番組を継続し、新たに市民活動団体の紹介番組を市民パーソナリティーや大学放送部の協力を得て、市民とホールの架け橋となるような番組を制作します。



②ウィークエンドコンサート（アミカホール）

平和堂財団文化奨励賞受賞者等との連携により地元アーティストを中心に実現した「四季折々クラシックコンサート」をプロデュースします。また、公演全後には平和堂財団助成により市内の小学校、中学校へのアウトリーチプログラムを行います。

③県支援事業【優れた芸術鑑賞】

滋賀県文化振興事業団との共催で、全国区で活躍中のアーティストを招へいし、優れた芸術作品を身近で鑑賞する機会を提供します。

イ. 普及啓発事業（6,702 千円）

①劇団四季 ファミリーミュージカル（クレアホール）

日本を代表するミュージカル劇団「劇団四季」との共催公演として、今年度は「ファミリーミュージカル」を2公演と「こころの劇場」を2ステージ行います。こころの劇場は、小学6年生を対象にした無料公演とし、子どもたちの心に生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかける企画とし、未来を担う子どもたちに本物の芸術との出会いを提供します。

②こどもアートフェスティバル（クレアホール）

クレアホール全館を使った一日アート体験として、ブックトークコンサートその他、映像・陶芸・デジタルアートなど、芸術大学や音楽大学等と連携した劇場が創る「アーティストとの出会いの場」を提供します。

③草津アートセンタープロデュース公演（クレアホール・アミカホール）

草津の民話『青花紙』をもとに制作したオリジナルオペラ「青花紙の詩」を書き下ろし、市内の小中学校を対象に芸術鑑賞プログラムとして紹介します。このプログラムは優れた舞台芸術を子ども達に鑑賞する機会を提供することにより、こども達の発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力を向上させることを目的としています。

④草津アートセンターの開設とアウトリーチ事業の実施

平成23年度以降、これまでに蓄積されたオリジナルプログラムを中心に地元アーティストと連携し、市内14学区（幼小中・地域）へ3年間でアウトリーチ事業を行います。また、地域からの依頼等に応じアーティストのコーディネート、プロデュース、アドバイスから企画制作まで市民のための文化芸術振興相談窓口として、音楽・演劇・舞台芸術に関する情報収集および助言等の各種支援を行います。



ウ. 創造事業（5,120 千円）

①「みんなの音楽会」クリスマスコンサート（クレアホール）

昨年好評を得たオーケストラと歌うコンサートの第二弾として、草津チェンバーオーケストラを中心に市民公募合唱団、地元合唱団、ブラスバンド等の各種音楽団体と連携し、昭和歌謡からクラシック、ジャズ、ゴスペルまで幅広いジャンルで創る音楽会をプロデュースします。

②クレア舞台芸術学校 アートスクール（クレアホール・アミカホール）

大阪音楽大学ミュージカル研究会と連携し、劇団四季出身の演出家や声楽家ダンサーを講師に迎え総合舞台芸術の基礎を学び、草津歌劇団3期生の育成とスタッフ養成を目的としたアートスクール「草津歌劇団研究所」を開講します。



エ. 市民協働事業（1,652 千円）

①クレアプラスフェスティバル（クレアホール・アミカホール）

市内の中学、大学、一般吹奏楽、ジャズが一堂に会するフェスティバルとして、オーケストラ部門をクレアホールで、またアンサンブル部門をアミカホールで開催します。これは市民企画により実行委員会を結成し、単なる発表会ではなく合同演奏を通して互いの交流を図り、客席とステージが一体となる音楽祭を目指します。

＜その他支援事業＞

- ・草津市民文化祭（草津市文化協会主催）
- ・草津市合唱祭（草津市合唱連盟主催）
- ・草津市民音楽祭（公募団体による市民実行委員会が主体となる音楽祭）



オ. 次世代育成事業（1,124千円）

①くれあ座 古典芸能フェスティバル（クレアホール）

箏、長唄、三味線、日本舞踊をテーマにキッズワークショップを行い、子どもたちの豊かな想像力、思考力やコミュニケーション能力などを養うきっかけとするとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的とします。



(4) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、次のスポーツ施設の運営および維持管理を行うとともに、各種スポーツ事業等を通して、市民相互のふれあいと地域連携意識の高揚に努め、スポーツ振興事業の展開を図ります。

<指定管理者としての管理施設>

- ①草津市立総合体育館
- ②弾正公園（草津グリーンスタジアム、弾正テニスコート、多目的広場）
- ③草津市立野村運動公園（草津市民体育館、グラウンド、テニスコート）
- ④草津市立ふれあい体育館・運動場
- ⑤草津市立武道館
- ⑥草津市立三ツ池運動公園

施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう施設の維持、管理業務の充実を図ると共に、施設予約システムやホームページ「草津市スポーツ情報」の運用により施設環境の充実を図ります。併せて、公共性を尊んで公平・公正に努め、利用者や関係団体との連携を強化し、各種サービスの向上に努めます。また、スポーツ事業については、草津市スポーツ推進計画に掲げられている基本方針に沿って、少年少女スポーツ教室をなどの子どもの体力向上やスポーツ活動の推進、シニア健康スポーツ教室や施設開放事業などによる生涯スポーツの推進、さらに（公社）草津市体育協会や各種スポーツ協会などが実施するスポーツイベントへの積極的な関与による地域コミュニティによるスポーツの推進や競技スポーツの推進に寄与します。

Ⅱ 収益等事業

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

①道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の文化、歴史、名所などの紹介や地元産物の販売など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、まちづくり振興の一助とします。また、サイクルスタンドの設置と共に官民でつくる滋賀プラス・サイクル推進協議会が進める「ピワイチ・サイクルステーション」への登録や、年々普及が進んでいる電気自動車用の充電スタンド、スマートフォン等の普及に対応する無料公衆無線 LAN の設置など、さらなる利便性の向上と魅力の創出に努めます。

②まちづくりセンター貸館

市民活動の推進に寄与するために運営している市立まちづくりセンターの一般貸館を行います。貸館事業は、貸し出しが好調なことから若干利用率の向上を見込んでいます。なお、一般貸館は市民活動団体の利用の妨げにならないようセンター3階部分を中心とし、利用者の利便性向上のため、新たにカラーコピー機やスマートフォン等の普及に対応するWi-Fi（公衆無線LAN）を設置しています。

③ロクハ公園（プール事業）

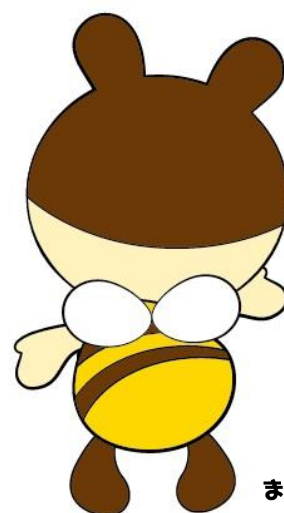
ロクハ公園プールの管理運営を行います。管理運営については利用者の安全確保に万全を期すため、専門業者へ委託する方式とし、プールを活用した事業としての各種水泳教室を専門業者へ委託して行います。利用者に安心して安全にご利用いただけるように事故ゼロを目標に委託した業者との情報共有を密に行い管理運営を行います。

④児童公園等維持管理

市内児童公園等の遊具補修や高木の剪定業務など、地元住民による自主管理では対応が困難な業務を専門業者に委託して行います。

⑤なごみの郷、ロクハ荘、クレアホール、アミカホール、各施設の維持管理

なごみの郷とロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クレアホールやアミカホールの修繕や維持管理を、より一層の経費節減に努めながら適正に行います。



まち活 マッチ